



Nishikawa
Innovation Hub

TRAS



にしかわイノベーションハブ TRAS

ヒト・モノ・コトが響き合い、未来を奏でる森のような居場所

出羽三山のひとつである霊峰・月山のふもとにある小さな町に、〈つなぐ・つながる〉をコンセプトとして生まれた複合施設である。この町に必要な場所をゼロから形づくるために、計8回にわたって地域住民・関係人口・行政を交えたワークショップを実施したところ、当初から想定されていたワーキング・シェアオフィス機能に加えて、さまざまな出来事の受け皿となるおらかな空間のあり方が求められた。

平面的に交差する4本の円弧に沿って鉄筋コンクリート壁が地面から立ち上がり、すべての水平力を負担するとともに空間を緩やかに分節する。それらを包み込む木造屋根は、町内産の「西山スギ」を無垢製材のまま用いて資源と経済の地域内循環に配慮しつつ、2mの積雪荷重を3次元的に工夫されたハイブリッド架構によって受け止める。構造的な制約から開放された外周部は、豊かな周辺環境との関係性において開口部が決定され、日々の時間や季節の移ろいを内部に映し出す。また空間の至るところには地域の伝統工芸による装飾があしらわれている。

〈にぎやかさ・静けさ〉〈集まる・離れる〉〈開く・閉じる〉といった空間の両義性を分断でなく連続において実現しようとしたとき、多様な生命の営みが自立しながらも共存する森のような空間が想起された。移動するたびに風景が移り変わり、それぞれが自分の居場所を見つけられるような空間である。このフィクショナルな森の中で人と人の新たなつながりが生まれ、未来への物語が紡がれることを期待している。



| | |
|--------|--|
| 【建築名称】 | にしかわイノベーションハブ TRAS |
| 【所在地】 | 山形県西村山郡西川町間沢 300-1 |
| 【発注者】 | 西川町 |
| 【用途】 | 事務所 |
| 【規模】 | 敷地面積 3,938.73 m ² 建築面積 868.64 m ² 延床面積 881.36 m ² 階数 地上2階 |
| 【設計】 | 構造 鉄筋コンクリート造（一部木造、鉄骨造） 建築/ツキノフ 伊東優・田中伸明 構造/Graph Studio 福島佳浩 電気設備/山田電気管理事務所 山田俊一 機械設備/サトウ設備図計 佐藤圭一 ランドスケープ/ふるうち設計室 古内時子 環境解析/東京理科大学 高瀬幸造 サイン/吉太郎デザイン 奥山千賀 |
| 【工程】 | 設計期間 2022年10月～2023年8月 工事期間 2023年9月～2024年5月 |
| 【施工】 | 建築/升川建設 電気設備/東照電気 機械設備/弘栄設備工業 木躯体・プレカット/シェルター 外構/八松園 |
| 【工芸】 | 土田健（陶芸）・志田菊宏（木地細工） 上野明（めのう細工）・シヤナオ（和紙漉き） せいのまゆみ（和紙照明）・伊東広（つる細工） 長谷川瑞輝（テキスタイル） |